

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H26.2.13

安芸地域本部

1 地域アクションプランの第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

農業分野のナスに関しては、地域園芸戦略推進会議や現地検討会、土佐鷹栽培者全戸巡回等を通じて系統出荷率の向上や作付面積の増加等に向けた取組みを行った。ユズに関しては、新植・改植を推進する勉強会や講習会の開催、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行うなか、昨年度に引き続き、9月からはヨーロッパ向けの青果輸出が始まっている。

水産分野では、3月末に完成したシラス加工施設の本格稼働が始まり、県内の量販店やホテルのほか、県外市場への出荷が始まっている。一方、課題の原魚の確保は、安芸地域の水揚量が低調なため、県内他産地や県外産地からの買い付けに向けた取組みを進めている。

また、室戸市に水産加工施設を整備した事業者では、遠洋マグロ延縄船上で高鮮度処理したビンナガ（土佐おとめマグロ）の販路を拡大する取組みが行われている。

林業分野に関しては、特用林産物の土佐備長炭の製造・販売の拡大に向けて、産業振興総合補助金を活用した製炭窯の増設や後継者の育成、生産組合の法人化などに取組んでいる。

商工業分野では、東洋町の海の駅の施設が12月に完成し、1月12日にオープンした。

また、田野町の完全天日塩を活用した新たな商品づくりに向けて、地元の事業者が取組みをはじめるとともに、農産物への活用の可能性について生産者を中心に検討が進められている。

なお、12月から、中山間地域を中心に生産される1次産品や加工品の重要な販売拠点であるとともに、地産地消・地産外商の拠点でもある直販所や道の駅の機能を強化するため、現在これらの直販所等に対する聞き取りによるアンケート調査を実施しており、今後は、新たな直販所間での連携やネットワークづくりに向けた取組みを進めることとしている。

観光分野では、平成27年度に安芸地域9市町村で開催する東部地域博覧会に向けて、11月には推進組織となる「高知県東部地域博覧会推進協議会」が設立され、平成26年2月に予定されている第2回総会に向けて、同博覧会の基本計画づくりをはじめ、関連イベントや体験プログラムの具体的な内容について検討が進められているところである。

なお、個別の取組みについては、室戸ジオパーク拠点施設については、平成26年度内の運営開始に向けて、12月に本体改修工事の施工事業者が決定したところであり、今後は施設内の展示物や外溝工事の設計を行う予定としている。その他にも、奈半利町にある藤村製糸や岩崎弥太郎生家などの観光資源化を目指して、現在、所有者、関係者及び行政とで具体的な協議を進めている。

(2) 具体的な動き

①地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</p> <p>■No.1 ナス産地におけるまともづくりとブランド化の推進（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA土佐あき</p> <p>■No.2 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA土佐あき</p> <p>・JA馬路村</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>安芸市の系統出荷率： 60%</p> <p>土佐鷹作付面積： 80ha</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>安芸市の系統出荷率： 58%</p> <p>土佐鷹作付面積： 40ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○系統率の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・地域園芸戦略推進会議まともづくりチーム会等の開催（8回）・各地区反省会、現地検討会の開催（10ヶ所、延べ50人へ情報提供）・安芸出荷場での営農相談の実施（6回、延べ203人へ情報提供）・地域園芸戦略推進会議の開催（産地振興方策の決定） <p>○土佐鷹の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・土佐鷹普及推進協議会及び総会での協議・検討（27園芸年度の推進目標面積40haを決定）・土佐鷹普及推進協議会合同研修会（10月）、作業部会（12月）・土佐鷹生産者大会の開催（2月）決定・JAと県とが連携し農家を個別に巡回指導（5,9月）（2/四半期現在の栽培面積26.9ha＝前年度並み）・園芸研究幹事会等の開催（2回）・消費拡大連絡協議会設立（10/4）、準備会委員会（6,7,8,9月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none">・土佐鷹の更なる推進（特に安芸集出荷場管内のまよりの形成） ⇒地域園芸戦略会議等を通じた系統率の向上 <p>[目標 (H27)]</p> <p>青果出荷受入量： 400t</p> <p>加工仕向け量： 4,670t</p> <p>加工用果皮の出来高量： 安芸1,000t、北川80t</p> <p>加工品販売 ユズ茶： 160百万円</p> <p>化粧品： 52百万円</p> <p>ポン酢他ユズ加工品： 2,070百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>青果出荷受入量： 400t</p> <p>加工仕向け量： 4,500t</p> <p>加工用果皮の出来高量： 安芸840t、北川60t</p> <p>加工品販売 ユズ茶： 160百万円</p> <p>化粧品： 52百万円</p> <p>ポン酢他ユズ加工品： 2,070百万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○新植改植の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・講習会（適期防除等、5回）、勉強会（適期防除、カラーリング出荷拡

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
	<p>大、加工用果皮出荷拡大、延べ27回744人の参加)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母樹園の果実品質調査(2回)、ユズ肥大等調査(2回) <p>○将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会等での課題抽出と共有化、活動計画の検討(北川村6+3回、馬路村1回) ・検討組織立上げに向けた調整(地域座談会等の開催、準備会の設置) <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版HACCP取得に係る審査(2月)の準備(JA土佐あき) ・加工用果皮出荷拡大・品質ワンランクアップ勉強会等開催(延30回) ・EU向け青果輸出(準備・調整支援13回、EU向け9月出荷400kg) ・海外等でのPR実施(賞味会:フランス、ベルギー、10月~11月) ・JA土佐あき販路拡大(商談会等県外出展3回、市場関係者招へい10/1、スイーツコンテスト開催12/14、ユズ収穫祭10/20) ・JA馬路村販路拡大(化粧品試供品1000セット提供、関西での有機果汁加工品販売、ユズはじまる祭り11/2,3) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ果汁の販売強化、ユズ商品の販売拡大 ⇒取り組みの着実な継続
<p>木質バイオマス活用の促進</p> <p>■No.8 木質バイオマス活用の促進(安芸市、芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐あき ・(有)安岡重機 ・高知バイオマスファーム ・高知東部森林組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ペレット生産: 1,500t/年 ボイラー設置: 100基 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ペレット生産: 700t/年 ボイラー設置: 102基 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペレット製造ラインの再整備後の稼働状況の検証 (生産量: 4~7月183t) ・ペレット製造ラインの補修用部品の確保 (生産目標1,000t/年=83t/月に対し60t/月を確認) ・園芸用ペレットボイラー導入に係る補助事業の活用 (園芸用ボイラー 30台(安芸8、芸西10+12 (H24繰越)) ・木質ペレットボイラーの設置完了(11月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域需要に対応するペレット製造ラインの拡充や安定供給 ⇒設備の補修や増強等による生産の能力の向上など

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>水産物のブランド化への取組</p> <p>■No. 10 キンメダイのブランド化に向けた取組（室戸市、東洋町、奈半利町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸東水産業改良普及協議会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>魚価単価： 1,200 円/kg</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>室戸市場のキンメダイ取扱量： 2.3%、1,000 万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協関係者等に対する試食会の実施（3回） ・キンメダイのフィレの流通の検討（冷凍からチルド状態へ） ・大手量販店との商談会の開催 ・キンメダイの試食品（冷凍フィレ）提供（東京フードジョー、関西居酒屋：高評価を得る） ・水産物ブランド化推進事業補助金を活用した販促・PR活動（9/24） ・PRグッズの作成（11月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24 の開発商品の改良 ⇒取引先や大手量販店などからのアドバイスに対応 ・冷凍加工品の開発と地元消費の拡大 ⇒地元調理師会と連携したPR活動等の継続
<p>No. 11 水産加工の促進と販路の拡大（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)タカシン水産 ・高知県漁協 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>加工品販売額： 12,000 万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売額： 8,600 万円</p> <p>取引件数の継続： 県外 10 件、県内 12 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工事業者の FBC フード・ビジネス・クリエイターの受講 ・新商品「おとめまぐろ」を大手回転ずしと取引契約（17t） ・工業技術センターによる工場の衛生管理状況の確認と衛生講習の実施 ・水揚量が少ない低価格魚（エチオピア）を地元事業者が加工し販売する準備に着手 ・近海マグロ延縄船上で高鮮度処理したビンナガ（おとめマグロ）の比較試験、脂肪含有量船上測定の実施 ・東京フードショーへおとめマグロを出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口で安定的な取引先の確保 ⇒既存商品の改善、新商品の開発への取組と営業活動の継続

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業 ・安芸漁協 ・安芸おじゃ娘 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>水揚げ額： 201,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>水揚げ額： 96,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚確保に向けた県外漁協等の情報収集（須崎市、香川、徳島、兵庫） ・事業者（安芸水産）から状況等の聞き取り（5/13～9/27、月1回） ・原魚購入（3～9月：44t 1,771万円、うち安芸以外13t 418万円） ・高知県地域産品商談会参加（安芸水産）（5/28） ・シラスの消費拡大、販売PR（8/1、安芸シラス食堂のオープン） ・お歳暮ギフト商品の販売開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工原魚の確保に向けた取組 ⇒他県の情報収集と原魚購入の検討 ・商品力、販売力の強化と新たな販路確立 ⇒商談会、見本市等への参加とPR活動の継続
<p>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</p> <p>■No. 3 ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲浦の果樹仲間 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>商品アイテム数： 4品 濃縮ジュース販売量： 5,000本</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>商品アイテム数： 3品 濃縮ジュース販売量： 3,000本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略の策定（6月） ・関西の業務用酒販業者への営業活動（6/17：大阪4社、11月：守口市） ・「海の駅」の飲食メニューへの活用検討（8月～、運営協議会） ・販路拡大の検討（地域広報誌掲載、県産品eコマースへの出店準備） ・県産品eコマースサイトへの申込（11月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略に基づいた販路開拓 ⇒ターゲットに対する営業活動の促進 ・新商品の開発と生産体制の構築 ⇒海の駅運営と連携した新商品の検討

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.4 「安田（あんだ）の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発（安田町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・生産者 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>売上高： 100 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>売上高： 25 百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開（4/1、4/21） ・県外百貨店での高知フェアに出展（銀座三越4月、大阪高島屋5月） ・まるごと高知の報告会・商談会へ参加（6/13） ・県外量販店の販売促進活動（7/30、31） ・オープン1周年記念イベント（6/22） ・製造量 4月(11,600個)、5月(4,100個)、6月(4,200個) ・商品の納入先実績（空港、サニーマート、てんこす、高知市の商店） ・ニッポン全国物産展おやつランキング入賞（11月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 ⇒地産外商公社等と連携した首都圏での商談の実施 ・原材料の安定確保に向けた仕組みづくり ⇒安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討
<p>■No.5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大（芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2香南くろしお園 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花ソルト」のH24年度末時点の販売店舗数（20店舗） ・新たに京都の農業法人と取引開始（6月～） ・ドライ商品の販売開始（かっぱ市 12月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花ソルト」「お花オイル」の知名度アップと販路拡大 ⇒現在の製造・販売体制の継続
<p>■No.6 白下糖の生産の拡大と新商品の開発（芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>サトウキビ収穫量： 40t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>サトウキビ収穫量： 38t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大のため検討会を実施（製糖組合、芸西村、県） ・生産拡大のためサトウキビ栽培地の現況確認（5月） 生産者：18戸、作付面積：7反 ・脱葉機の導入決定 ・製糖製品の販売先等の検討（かっぱ市、芸西村、県） ・村内生産者を招いて脱葉機の見学会を開催（11月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の増加対策 ⇒生産者等への働きかけ ・新商品の開発に向けた検討 ⇒かっぱ市との連携による新たな加工品の検討

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 14 酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大（田野町、安田町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国部品(株)中芸工場 ・民間企業（予定） 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額： 42,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額： 16,200 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での物産展への出展（4/24～6/25、5回） ・県内での物産展等への出展（4/27～11/23、6回） ・県内商談会、支援制度の紹介 ・急速冷凍機、食器消毒保管庫の導入（5月） ・新商品の開発と販売（8月～：しょうが菓子「濱口雄幸の爪の垢」、11月～：「蔵人の菓」新味（チョコ、しょうが）） ・商品展示・PR（5月～6月、産振シンポジウム） ・まるごと高知で販売開始：塩シャーベット（5月～）、「爪の垢」（12月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採算ベースを確保するための売上増加やコスト低減対策 ⇒県内量販店等の取引先の確保に向けた営業活動 ・酒の実ヴィネグレットソースの製造事業者廃業（H24.12.28） ⇒中芸地区商工会と連携して、事業継承者の確保
<p>■No. 24 海の駅を拠点とした地域振興（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>海の駅来場者数： 180,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新施設の早期竣工</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事の着手（7/3、工期：～12/27） ・海の駅運営協議会の開催（8/28 設置、9/13、10/28、11/28） ・出展者の募集（9/26～）、従業員の募集（～10/25） ・施設落成式（12/15） ・運営開始予定（1/12～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な施設運営と施設で提供する飲食メニューや加工品作り ⇒運営協議会を立上げ、検討・協議に着手

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>広域的に連携した観光の推進</p> <p>■No. 19 安芸地域における広域観光の振興（安芸地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数： 140,000 人 圏内宿泊者数： 150,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>圏内主要施設訪問者数： 125,000 人 圏内宿泊者数： 140,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域博基本計画策定委員会での協議 (4/24、6/7、7/4、7/23、8/20、9/12、10/7、11/7) ・東部地域博推進協議会の設立（準備会 7/30、安芸広域幹事会 10/22） ・県広域観光推進事業補助申請（6/7、交付決定） ・東部地域博基本計画策定委託を観光拠点等整備事業費補助金申請（6/10、交付決定） ・県観光人材研修の実施（6/13、6/14、6/28、11/25～26） ・県の観光アドバイザーによる研修会の実施（5/27～29、7/17、19、9/26、27、10/24） ・東部地域博推進協議会の設立(11/22) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な旅行商品の造成、体験メニューの充実 ⇒安芸広域全体での体験メニューの更なる掘り起こしと磨き上げ ・地域博覧会の開催に向けた準備等 ⇒推進体制の構築と具体的な内容の検討
<p>■No. 20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ジオパークガイド登録者数： 40 人 来訪者数： 70,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ジオパークガイド登録者数： 50 人 来訪者数： 70,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(情報発信・国際交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもサマースクールの実施（募集 6/15～7/17、実施 8/8、9） ・リョーマの休日エリアキャンペーン（スペシャルジオツアー11/23、参加 16 人、12/14 は不催行） ・アジア太平洋会議（済州島）参加（5 名、9/9～11） ・ジオパーク全国大会参加（隠岐大会：10/15～18） ・ジオツアーの実施（おさんぽツアー11/10、11/24、参加者延 26 人） <p>(拠点施設整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計委託、県観光拠点等整備事業補助金交付決定（6/24） ・建築主体工事、県観光拠点等整備事業補助金交付決定（12/12） ・基本設計委託契約（～10/31）、実施設計委託契約（～12/31） ・建築主体工事入札（12/10） <p>(サイト整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元協議（1 回） ・「海の駅とろむの日（10 月 6 日）」記念イベントに向け協議（8/13） ・吉良川サイトまち並み拠点施設外溝工事（9 月～12 月） ・段の谷山サイトトイレ整備設計観光拠点等整備補助金申請(12/6)

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 22 岩崎弥太郎と地域食材を活用した観光の振興（安芸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・生産団体・グループ ・民間事業者・加工業者 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・JA土佐あき婦人部 ・入河内大根のこそう会 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド育成とジオツアーの造成 ⇒ガイド養成講座の周知とツアー関係者との連携 ・拠点施設整備 ⇒多くの参加者を集めるための市民への周知と意見収集 <p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸釜あげちりめん井を出展しPR活動を実施 (3/31～5/6 内原野つつじまつり、4/7 食1グランプリ、5/18・19 グルメフェスタまんのう、グルメフェスタ栲原 9/22) ・まるごと高知での商談会、テストマーケティングの参加（まる弥カフェ 8/24、25、9/9） ・PR キャラバンへ参加（6月：福岡・広島・大阪・岡山、7月：松山・高松） ・ボランティアガイド養成（安芸市観光学大、7/21～8/19、6回、28名） ・安芸釜あげちりめん井楽会総会の開催（6/6） ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会総会の開催（5/28） ・入河内大根のこそう会総会（5/23） ・高い甲子園の開催（8/10） ・四国じゃこサミットの開催（10/26、27） ・レシピコンテストの実施（12/1） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市の観光振興に向けた推進母体の育成 ⇒安芸市観光協会の機能の見直し ・岩崎弥太郎生家に関する観光新商品開発 ⇒現状把握と有望素材の磨き上げ
<p>■No. 26 中芸地区における広域観光の推進(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸広域連合 ・中芸観光協議会 ・中芸商工会 ・観光関連事業者等 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域博基本計画策定検討委員会への参画（4/24、6/7） ・観光案内や地域観光キャンペーンの実施（4/26・27 イオンモール、5/3～6 田野駅屋臨時案内所） ・中芸観光協議会総会（5/30） ・土佐旅セミナー研修受講（6/13・14、6/26） ・中芸食に関する検討会の開催（6/27、7/18、10/16） ・中芸観光ガイドスキルアップ研修会の検討（8/5、12/17） ・中芸地区ファンづくり検討会（8/5）、黒笹慈幾氏の講演会（8/27） ・奈半利川支流野川川でのアマゴ釣体験（11/1～） ・野根山街道エコモニターツアーの実施（12/1） ・地域グルメ開発に関する講演会（12/20、講師：ヒロ中田氏）

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 27 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、事業者、行政が協働する観光振興の展開 ⇒中芸観光ビジョンの実現にむけた関係者の協働意識の醸成 <p>[目標 (H27)]</p> <p>ツアー客数： 1,500 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ツアー客数： 1,300 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会の開催（4/5、5/8、6/17、7/15） ・隧道カフェの開催（4/19、7/15） ・林鉄講演会の開催（9/27、安芸市シルバー短大） ・支線調査報告会及び通常総会の開催（5/22） ・現況調査及び活用策づくりに係る文化庁の補助事業導入に向けた関係者間での協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林鉄道遺産の保存・管理・活用 ⇒国、県との協力体制を構築
<p>■No. 30 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・きたがわジャルダン 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>入園者数： 65,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>入園者数： 60,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「モネの花図鑑」の開催（ハーブの章3/4～4/22、バラの章4/24～5/31、睡蓮の章6/1～9/19、七花の章9/16～12/1） ・企画展「押花展示（花たちからの贈り物）」の開催（6/1～7/15、睡蓮根付け講習会6/23） ・企画展「写真家前田博史天然写真展」の開催（9/13～30） ・夜の睡蓮開花観賞会、水の庭朝食会の開催（9/14～16） ・ガーデニング教室の開催（4/13, 14, 19、12/15、イオンモール4/20, 21、5/18, 25、9/28, 29） ・無料開放（開園記念4/19、12/1～1/9） ・広報活動の展開（新聞折込誌ミリカの活用） ・日帰りエリアや団体への営業活動の拡充（四国全域、岡山、神戸） ・新支配人の就任（9/1～） ・ランチメニュー追加(11/15～) ・園外出店によるPR・営業活動の実施（北川村ユズ祭り11/2、中岡慎太郎墓前祭11/17、RKC ラジオ北川村キャラバン11/18、安田山芋祭り12/8） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者増に向けた誘客対策 ⇒企画・イベントのバージョンアップと情報発信の更なる強化 ・営業体制の強化 ⇒観光協会との連携やフェイスブックの活用など多様な営業活動

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化（室戸市、東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>新規就労者： 5名 共同窯設置： 4基 生産量増産： 30t/年 新商品開発： 1商品 原木配給施設 1箇所</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新規就労者： 3名 共同窯設置： 4基 新商品開発： 1商品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町土佐備長炭生産組合が産振補助金を活用し共同窯等を整備（審査会 7/24、採択決定 8/20、交付申請 8/26、交付決定 9/20） ・2事業体から活動計画・活動状況の聞き取り（室戸 4, 8, 9月、東洋 4月） ・新規研修生の受入れ（東洋町 H25/7～ 2名、室戸市 1名） ・共同窯の整備に着手（11月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木調達や製品の販売対策（室戸市） ⇒原木調達や協業化に向けた検討 ・新規就労に向けて受入れる研修生の独立支援 ⇒独立に必要な炭焼窯の整備経費支援策の検討
<p>■No. 16 キラメッセ室戸「楽市」の機能強化（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>キラメッセ楽市来場者数： 258,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>整備基本構想策定</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場拡張に係る保安林解除委託施工 室戸市予算確保(6月補正)、委託契約（工期：8/13～11/15） ・周辺住民への保安林解除の事前意向調査の実施（6月） ・「楽市」機能拡張に向けた関係者（室戸市、県、指定管理者）検討会（8/15、11/11、12/2、12/16） ・整備基本構想作成委託（12月下旬） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場拡張を伴う加工施設の整備に向けた早期の整備基本構想の策定 ⇒駐車場拡張に係る保安林解除手続きの委託施行

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 21 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市 	<p>[目標 (H27)] 来場者数： 25,000 人</p> <p>[H25 到達点] 来場者数： 27,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設リニューアルオープンセレモニー(4/14) ・海の駅「とろむ」と施設オープン感謝祭を合同開催 (4/14) ・ドルフィンプロジェクト総会で営業方針・宣伝方法等を決定 (5/26) ・リニューアル施設の告知・PRを実施 (るるぶ四国掲載、テレビ放映、ほっとこうち1月号掲載、四国内旅行会社へPR、西日本高速SAフリーペーパー「遊悠」掲載、近畿西日本ツーリスト教育旅行パンフへの掲載) ・陸上施設や体験プログラムの充実 (陸上プール、受付・更衣室・シャワー室・講習室、イルカ2→4頭、体験プログラムの追加) ・リョーマの休日エリアキャンペーン登録 (協議7/31、ハロードルフィン半額割引PR11月～2月) ・陸上補助プール整備を観光拠点等補助金申請 (12月下旬) ・「海の駅とろむの日 (10月6日)」記念イベントの開催 (事前協議8/13、8/23、8/30、9/4、9/17、10/1) ・体験メニューの企画と実施 (7/22, 29, 8/5 イルカと1日遊ぼう ふれあい体験&ドルフィンスイム 参加13名、8/26 木工工作&ハロードルフィン 参加12名) ・統括マネージャー (8/16～) と営業担当 (9/11～) の配置 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる情報発信や施設整備による来場者増 ⇒とろむエリア全体の利活用策の検討

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 29 安田中山地区の活性化プロジェクト（安田町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター「なかやま」の開設（4月） ・中山を元気にする会運営会開催（4/23、5/14、6/4、総会6/5、交流会10/9、10/22、先進地の土佐町とんからりんの家を視察研修10/17） ・高知大学・安田町連携事業協議会（6/5） ・旧中山小学校（集落活動センター）の耐震診断着手（6月） ・集落調査員の雇用（10/1～2名体制） ・民間企業によるシェアオフィス候補地視察（12/9） ・集落活動センター整備工事入札（12/20 結果は不落） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの円滑な運営と外部人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域おこし協力隊員による運営支援の継続 ⇒地域おこし協力隊員の活動を通じた地域住民の参加意識の醸成

2 平成25年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化（東洋町）</p>	<p>・共同利用窯4基と運搬機材（フォークリフト）を整備し、生産・出荷体制を強化する。また、組合員の視察研修により新商品の開発や品質管理の向上を図るとともに、備長炭や産地を紹介したパンフレットを作成し、商品PRを行う。</p>	<p>18,237 (12,148)</p>

3 県民参画に向けた取組

○第2期産業振興計画の周知

- ・室戸市議会全員協議会の講演
- ・地域アクションプラン事業主体の企業等訪問（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町）

○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

- ・室戸市議会での説明

○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

- ・地域アクションプラン事業者への案内（四国部品、大野倶楽部、安芸水産、JA土佐あき等）
- ・地域団体への案内（JA土佐あき、JA馬路、安芸商工会議所、中芸地区商工会等）

○土佐ビジネスアカデミーの受講への働きかけ

- ・地域アクションプラン事業者へ案内（安芸水産、一般社団法人 うみ路 他）

4 相談案件：9件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/16	商工	安芸地域の食材等を室戸市の宿泊施設や他の地域へ提供したい。
2	5/10	食品加工	田野町で生産する天日塩を利用した商品を開発・販売したい。
3	5/29	観光	岩崎弥太郎生家を活用した新規事業を創出したい。
4	6/24	水産	安芸市内でシラス加工品を使った飲食を提供する食堂を開きたい。
5	7/3	水産	深層水利用の養殖水産物（ナガレコ、アワビ）を加工商品にして販売したい。
6	10/18	農業	地域特産品のなほり味噌を増産するための設備や施設を整備したい。
7	10/18	観光	近代化産業遺産の指定を受けた奈半利町の施設を保存して観光に活用したい。
8	11/7	畜産	高知県内へ移住し、土佐ジローなどの養鶏で事業化をしたい。
9	11/11	水産	室戸で獲れる低価格魚（メジカ）の加工事業を拡大していきたい。